

# 製材事業体に対する取組の強化について（中小企業への取組）

## 【これまでの取組】

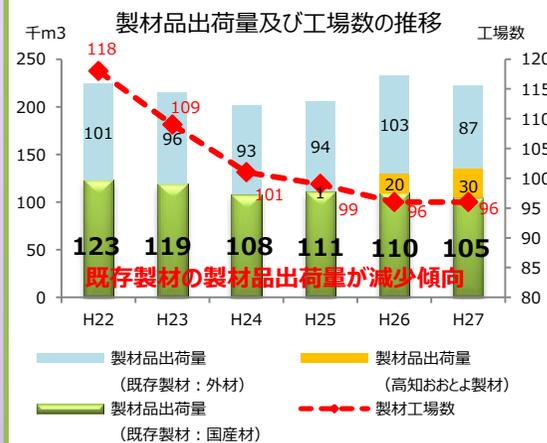
木材加工力の強化（製材設備の整備による加工力強化）

### ◆平成24年度から木材加工力強化（ハード）の支援を拡充

- 国の支援に加え、新たに県単独事業「県産材加工力強化事業」による製材設備の整備を支援
  - ・ 21(延べ31)事業体が設備投資(H24～H28)

※県産材加工力強化事業の導入事業体（延べ）  
H24:7社、H25:8社、H26:7社、H27:4社  
H28:3社、計29社（延べ）

※国補助事業の導入事業体  
H25:高知おおとよ製材(株)  
H27:池川木材工業(有)



- ・ 木材加工力強化のために設備投資を行った事業体では、加工能力や製材品の品質が向上
- 一方で
- ・ 既存製材の製材品出荷量及び工場数が年々減少

製材事業体の現状把握や新たな取組のために実態調査を実施

## 【見えてきた新たな課題】(実態調査より)

※調査先:55社(原木消費量3百m3/年以上)

### 《人材育成》

- ・ 人材の確保が困難。
- ・ 将来の「目立て」技術者の不足を危惧。（技術者の育成が急務）



※「目立て」とは、帯鋸などの鋸の研磨作業

### 《事業継承》

- ・ 後継者(息子)がいるが事業継承を望まない事業体あり。
- ・ 後継者がいない60歳以上の経営者の事業体が多い。

### 《設備投資》

- ・ 販売が伸び悩む中、設備投資を躊躇する事業体が多い。
- ・ 経営が好転した事業体は、設備投資を行った事業体。

### 《特色ある製品》

- ・ 製品に特色があり、販売方法を工夫している事業体は経営が安定。
- ・ 防腐・防蟻処理等は県外で施工。



- ・ 柱など一般建築用材の製材の継続を望む事業体が多い。



### 《販売》

- ・ 営業活動が不足し、新たな取引の拡大が困難。

## 【課題解決に向けた方向】

### ★人材育成の強化

### ★付加価値の高い製材品づくりを推進

### ★競争力の高い製材品づくりを推進

## H29実施事業

### ★県産材加工力強化事業（人材育成（ソフト事業）を追加）

～人材育成とハードの両面から支援～

- ① 事業体の事業戦略づくり等に向けた講習会の開催や個別支援など **拡充**
- ② 県産材加工力推進事業 **拡充**
  - ・ 木材協会等が行う経営者を対象とした事業戦略づくり等に対する支援
  - ・ 「製材若手の会」など経営者の連携による活動を支援
  - ・ 製材及び木材の高次加工に必要な製造技術の習得に対する支援
    - 先進的な取組を行っている製材工場等における研修
    - 木材乾燥技術、高次加工等に関する講習会の参加に対する支援
  - ・ 技術アドバイザーの派遣に対する支援
  - ・ 協同組合等が行う目立て技術者の養成を支援
    - 県外の機械メーカー等における研修
- ③ 県産材加工力整備事業
  - ・ 従来の製材設備の整備に加え、新たに木材専用フォークリフトの導入を支援

### ★木材加工流通施設整備事業

- ・ 高性能乾燥機の導入支援

### ★非住宅建築物木造化促進事業

- ・ 新たな内装材等の開発
  - 事業体による木製品の商品化（インテリアデザイン等と連携）に対する支援



## 人材育成に関する支援策（他部局等）

- ・ 土佐まるごとビジネスアカデミーの活用
- ・ ものづくり地産地消・外商センターの活用事業戦略
  - 「事業戦略」の策定等をサポート
- ・ 小規模事業者等支援委託事業の活用
  - 専門家が中小企業者の経営等を指導
- ・ 事業承継や後継者等の中核人材の確保
  - 事業承継等推進事業や事業承継・人材確保センターの活用
- ・ 採用定着奨励金の活用 → 雇用者に対する給付金

## 販売の強化

### ◆県内事業者の地産外商を支援

- 県内外での商談会及び土佐材展の開催
- 県外流通拠点及び土佐材パートナー企業との連携による外商促進



H29拡充

## 事業体の販売面を更に支援

### 《販売》

- 県産材の外商推進体制を強化
- 県産材の輸出を強化